

広報・広聴活動の推進について

作成年月日	令和6年6月18日
作成部局名	総務部秘書広報室広報広聴課

目次

I 広報活動の推進

- 1 パブリシティ活動の強化・・・・・・・・・・・・・・・・ 01
- 2 効果的な広報媒体の活用・・・・・・・・・・・・ 02
- 3 全庁広報力の充実強化 ・・・・・・・・・・・・ 08
- 4 県民が参画できる県広報基盤の確立・・・・・・・・ 11

II 広聴活動の推進

- 1 県政への意見・提言の把握・・・・・・・・・・・・ 13
- 2 相談体制の充実・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 3 県庁見学の実施・・・・・・・・・・・・・・ 18



Ⅰ 広報活動の推進

1 パブリシティ活動の強化

(1) 定例会見による発信

県施策のタイムリーな情報発信、報道機関からの幅広い質疑の機会として原則週に1回開催。

手話通訳の導入、インターネットライブ中継により多くの県民に県政情報を適時・適切に発信。



定例会見の様子

(2) 行事と連動したプロモーションの実施

知事の囲み取材への対応、視察現場や会議の公開、報道番組への知事自らの出演、各担当課によるPRなど、取材の機会を増やし、積極的なパブリシティ活動を実施。



報道された行事の映像

※サンテレビHPより抜粋

1 広報活動の推進

2 効果的な広報媒体の活用

(1) 県民への情報発信

① 兵庫県広報紙「県民だよりひょうご」（予算額 267,809千円）

「兵庫県のさまざまなことがわかり、兵庫県のことがもっと好きになる広報紙」をコンセプトに、フィールドパビリオンをはじめ、県政の多分野にわたる施策や事業、県内各地の魅力やイベント情報など県民生活に密着した話題を広く発信。

スマートフォンでも見やすいホームページを作成し、SNS広告で積極的に周知。

【概要】

- ・規格：タブロイド判8ページ（全面フルカラー）
- ・部数：1,400,000部
- ・発行：年12回、毎月1日発行（4月号は3月31日発行）
- ・地域版：8面地域版は10県民局切り替え
- ・配布方法：新聞折込、公共施設等への配架
- ・認知度：47.8%（令和5年度第1回インターネット調査）
- ・デジタル展開
自治体広報アプリ「マチイロ」、デジタルブック「HYOGO ebooks」「マイ広報紙」などの電子書籍に掲載
- ・ユニバーサル対応
点字広報紙「広報ひょうご」（750部）、音声による広報「愛の小箱」（CD600枚）を毎月発行



紙面例

② 県民情報テレビ番組「ひょうご発信！」（予算額 71,585千円）

身近なTV放映の特性を生かし、県政や県の魅力（フィールドパビリオン、観光スポット、特産品、地域で活躍する人等）をテンポよく分かりやすく紹介する情報番組を提供。

【放送日時】 毎週日曜日 8時30分～8時55分

【放送内容】 ・フィールドパビリオンをはじめとする県の取組を分かりやすく紹介
・県内各地の魅力を観光・グルメなど様々な切り口で紹介
・県政情報や地域の魅力等を発信

【視聴率】 6.0% （日本リサーチセンター調査（R5.11.12））



THAT'S FIPAVI



教えて！ひょうご

③ ひょうごフィールドパビリオンプロモーション特別番組 **新**（予算額 4,697千円）

メディアの中で最も身近で広く普及しているテレビを活用し、大阪・関西万博の開幕を目前に控え、フィールドパビリオンの認知度向上やシビックプライドの醸成を図る特別番組（60分）を提供。フィールドパビリオンプレイヤーの思いや兵庫五国の魅力をあわせて発信。

(2) 県内外への情報発信

① インターネットを活用した情報発信

ア ホームページ（予算額 24,211千円）

主要施策や防災、イベント・観光などの県政情報全般を提供。災害等緊急時には、県政情報を発信しつつも緊急度、重要度が高い情報を目立たせる等、状況に応じて情報を分かりやすく発信。

【トップページアクセス数】31万8千件/月（R5年度）

The screenshot displays the official website of Hyogo Prefecture. The layout includes a top navigation bar with language options and emergency information. The main content area is divided into several sections:

- 情報を探す (Information Search):** A sidebar on the left with search filters and a search bar.
- 躍動する兵庫 - 県民が主役の兵庫づくり - (Vibrant Hyogo - Hyogo where citizens are the main actors):** A central news section featuring a large image of a woman and text about a 5th anniversary event.
- おすすめ記事 (Recommended Articles):** A section titled "HYOGO アサ@" with the tagline "Each morning My morning", featuring images of local activities and food.
- ピックアップ - 兵庫県公式スペシャルサイト&コンテンツ - (Pickup - Official Special Sites & Content):** A section highlighting specific content like the "Gourmet Hyogo" website.
- トピックス (Topics) and イベント (Events):** A right-hand section with a list of current news items and event announcements.
- 兵庫県公式メディア (Official Media):** A section for social media links (X, Facebook, Instagram) and a "県民だより" (Citizens' Newsletter) section.
- ひょうごチャンネル (Hyogo Channel):** A section for video content, including "Field Pavilion" and "ひょうごフィールド/ビジョン Our Field, Our SDGs".

県ホームページ（トップページ）

ウ ひょうごチャンネル

YouTubeと連動して知事記者会見（ライブ・録画）や、施策、イベント等の県政情報を動画配信。

【概要】

- ・ 動画登録数 1,828本（R6.5月末現在）
- ・ 閲覧数 約110万回（R5年度）



ひょうごチャンネル（フィールドパビリオンPR動画）

エ スマートニュース

日本最大のスマートフォン専用ニュース閲覧アプリ「スマートニュース」と県が提携し、記者発表資料を配信。

オ 広報専門員による県政魅力発信動画

フィールドパビリオン等の県の主要施策について、広報専門員が現場を体験しながら紹介する動画を制作



広報専門員による制作動画（フィールドパビリオン）

② テレビ、ラジオを活用した情報発信（予算額 28,188千円）

ラジオ関西で毎月第2・第4水曜日に、兵庫県の情報コーナー「GO!HYOGO!」を設ける他、SNSを活用し、フィールドパビリオンをメインに県政情報などパーソナリティが現地取材を行い、魅力紹介やイベントの告知を発信。（番組「Clip」内で約20分間）

また、毎月第2木曜日、知事が出演するコーナー「こちら知事室！」を設け、県政のタイムリーな話題を発信。（番組「三上公也の朝は恋人」内で約25分間）

加えて、テレビ情報番組とラジオ・SNS等のメディアミックスにより、インターネットを連動させながらひょうごフィールドパビリオンの魅力を近畿府県を中心に発信。



Xにおける「GO!HYOGO!」の告知ポスト



テレビ情報番組と連動したXでの情報発信

1 広報活動の推進

3 全庁広報力の充実強化

(1) 専門人材の設置（予算額 11,293千円）

職 種	内 容	勤務形態
広報プロデューサー	個別施策に応じた広報戦略の企画・立案、広報物の品質向上に向けた指導の総括	3～4日／週
メディアディレクター (R6.6月～1名増員)	効果的な情報発信のための最適なメディア選択や発信方法等への指導・助言	2日／週
デザインディレクター	ポスター、チラシ、動画等のデザイン向上に向けた指導・助言	2日／週

(2) 主要事業への助言

ひょうごフィールドパビリオンや県産食材フェアなど各部局の主要事業等に対して、広報プロデューサー等が助言を行い、戦略的な広報活動を支援。

【実績】

(件数)

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
助言等支援数	263	565	630	679

(3) 県民との協働による情報発信力強化 **新**（予算額 4,000千円）

県の魅力や県政情報について、一般県民や学生の参画を得て県民目線での情報発信を行う「多様な地域人材の参画による県政発信強化プロジェクト」を展開。

- ・県広報に興味がある県民を30名程度募集
- ・メンバーを対象に、広報プロデューサー等が効果的な広報ノウハウやSNS発信のコツ等を講義
- ・各メンバーが、プロデューサー等のアドバイスを受けながら、実際に県内各地の魅力や県政情報取材して記事を作成し、各種広報媒体（県HP等）で発信

【専門人材による広報支援事例】

ひょうごフィールドパビリオン

視覚に訴えるロゴ・キャッチコピー制作、HPや動画等を組み合わせたメディアミックスによる効果的な発信手法について指導・助言。



ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

【ロゴ】
県の地形をベースにSDGsを想起させる配色で多彩な魅力を表現

【ホームページ】
各プログラムの内容紹介等についてストーリー性のある展開を提案



【動画】
各地域を五感・時間軸でイメージできるストーリー展開を提案

コレも兵庫！HYOGOうまいもんCOLLECTION

県産食材そのものの魅力に加え、「生産者の声」の取材により、風土や歴史などの背景も掘り下げたタブロイド紙の発行を提案。実際に味わい楽しみたくなる紙面構成を指導・助言。



R6.1月発行のタブロイド紙では、香住ガニと淡路えびす鯛など組み合わせた「五国鍋」の魅力を生産者の声を盛り込み、兵庫の酒とともに紹介

(4) 職員向け研修の実施

【実績】

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
研修数	7	10	17	26
研修受講人数（人）	444	813	799	1,199

【令和5年度の主な研修】

研修名	対象	研修内容
新任職員研修	新規採用職員	広報相談事例等を紹介しながら、県民目線に立った自治体広報のあり方や広報の重要性について講義
中堅職員研修	主任等に昇任した職員	情報発信力の向上（効果的な広報、情報発信媒体の選定、写真・イラストの活用等）
県民局広報担当者研修	県民局職員	県民だより地域版や県民局HPの効果的な活用方法について好事例を紹介しながら解説
県立社会教育施設広報担当者研修	県立美術館、博物館等職員	施設で開催する企画展やイベント等の効果的な広報について事例紹介を交えて解説
市町職員向け研修	市町広報担当職員	自治体広報のあり方やHP、SNSの効果的な活用方法について県の事例等を紹介しながら解説
部局別広報力向上研修	企業庁、土木部	部局の特色を踏まえた広報のあり方や同部局の事例を紹介しながら解説

1 広報活動の推進

4 県民が参画できる県広報基盤の確立

(1) 「兵庫五国連邦（U5H）プロジェクト」の展開（予算額 6,345千円）

県民による投稿を軸に、ふるさと意識の醸成や県内外との交流推進を図ることを目的に、様々な切り口で本県の魅力を発信するコンテンツを展開。

また、庁内各部局と連携し、健康づくりや県産食材の認知度向上といった各種施策について、U5Hを活用した情報発信を実施。

① 「県民協働型広報」の展開

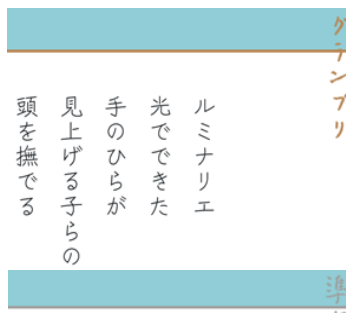
県民からの投稿を基本に地域への誇りや愛着心の醸成、交流推進を目指した取組を展開。短歌ブームも踏まえて県の魅力を詠んだ短歌を募集（R5）。



選者 坂口涼太郎・谷じゃこ

右手にパン、
左手に菓子、
北野坂
両足がつる
気配が見えて

U5H短歌



光でできた
手のひらが
見上げる子らの
頭を撫でる

やり直すことは
出来るさ
西北の
時計台から今
ファンファーレ

ダ
ン
ブ
リ

ダ
ン
ブ
リ

② 庁内他施策との連携

大阪・関西万博2025に併せて実施される「ひょうごフィールドパビリオン」を題材とし、U5H視点での楽しみ方を「丹波編」として展開（R5）。



万ぱくぱく

(2) 「ヒョーゴアーカイブス」の運営

兵庫の過去と現在の姿を県民とともに保存・活用し、未来に伝えていくwebサイトを運営し、ふるさと意識の醸成や五国の多様で豊かな魅力を発信。

【概要】

- ・コンテンツ数：R6.5月末動画88点、写真769点
- ・活用事例：TV局、鉄道会社のキャンペーン広報での映像利用等（R5）
特別展示「アーカイブス展—ひょうごの豊かな海—」を県政資料館で実施（R4）
NHK等TV局各社での東京リビック特集での映像利用等（R1）



ヒョーゴアーカイブスホームページ



くらし：団地づくり急ピッチ（摂津）



くらし：家島の水くみ（播磨）



くらし：カニ競りの準備（但馬）



くらし：丹波茶を摘む（丹波）



くらし：昨日まで海底を歩いていました（淡路）

II 広聴活動の推進

1 県政への意見・提言の把握

「県民ボトムアップ型県政」を推進するため、多様なチャンネルを通じて県民とのコミュニケーションの確立を図る。

(1) 県民意識調査（予算額 1,002千円）

県民の価値観や行動志向、県政へのニーズなど県民意識の基本的な経年変化を大きな潮流として捉え、県の政策形成、施策運営に反映。

調査対象：県内在住の18歳以上の者 5千人（無作為抽出）

毎年調査項目：ア「生活満足度」イ「生活向上感」ウ「震災に対する意識」
エ「地域活動への参加実績」オ「県政への関心」

【令和6年度調査】

年次テーマ	暮らしに根ざした資源循環・リサイクルについて考える（仮称）
目的・活用方法	「兵庫県資源循環推進計画（R6.1月策定）」では2050年頃の持続可能な社会の姿として、環境負荷や社会的コストにも留意した「資源循環・脱炭素・自然共生社会」を目指すこととしている。今後、この計画を具体的に進めていくため、県民意識を把握し各種施策に活用する。
実施時期	R6.9月下旬予定

(2) 県民モニター

施策や事業の立案等に県民の意見を活かしていくため「県民モニター」を一般募集し、県民に身近な課題についてインターネットを利用して意見を聴取。

対 象：県内在住・在勤・在学で県政に関心を有する18歳以上の者
 人 数：2,332人（R6.5月末）
 任 期：当該年度内（再任可）
 活動内容：web上でアンケート調査に回答



【令和6年度調査】

回	調査テーマ	調査結果の活用	実施期間
1	ユニバーサル社会づくりの推進について	これまでの取り組みの認知や評価、今後の課題など把握し、「ひょうごユニバーサル社会づくり総合指針」の改訂に活用する。	R6.5.17(金) ～5.27(月)
2	ひょうごの花・緑について	花や緑に関する課題認識や行政に望む取り組み・支援などを把握し、「ひょうご花緑創造プラン」の改訂に活用する。	R6.7月予定
3	男女共同参画に関する意識	家庭生活における男女（夫婦）の役割分担、職場における女性活躍や男女共同参画に関する意識などを把握し、「ひょうご男女いきいきプラン2025」の改訂に活用する。	R6.10月予定
4	防災に関する意識と取り組みについて	防災対策の効果的な推進及び県民の防災意識の高揚を図るため、県民の防災・減災に対する認識及び取り組みの現状を把握する。	R7.1月予定

(3) さわやか提案箱

県のホームページに、県政に関する意見、提案等に電子メールで対応するメールボックスを開設

(件数)

年度	意見・提案等	簡易な照会	計
H30	228	28	256
R1	1,085	22	1,107
R2	13,567	7	13,574
R3	6,525	10	6,535
R4	2,474	41	2,515
R5	1,957	54	2,011
R6.5月末	251	9	260

II 広聴活動の推進

2 相談体制の充実

(1) さわやか県民相談（予算額 64,005千円）

兵庫県民総合相談センター、各県民局・県民センター、広報広聴課に相談員を配置し、専用電話（フリーダイヤル等）、面談などにより、県民の県政に対する意見・要望や日常生活に係る相談事案などに対応。

【相談体制】

配置場所	県民局・県民センター	県民総合相談センター	広報広聴課	合計
相談員	15人	3人	2人	20人

【利用状況】

(件数)

年度	照会	相談	意見	苦情	その他	合計
R3	7,341	3,852	1,659	807	1,504	15,163
R4	7,331	3,735	1,050	589	1,775	14,480
R5	6,979	4,531	1,137	889	960	14,496
R6.5月末	1,094	915	161	160	173	2,503

(2) 兵庫県民総合相談センター（予算額 20,890千円）

県政に対する意見、要望から生活一般に関する悩みごとまで、県民から寄せられる相談等に幅広く対応。そのため、各種専門相談窓口を同センター内に併設するとともに、相談内容に応じて、県や国、市町の所管部署を案内するなど、相談業務の総合調整機能を充実。

【相談窓口及び利用状況】

(件数)

相談窓口	R3	R4	R5	R6.5月末
さわやか県民相談	3,190	2,869	2,994	543
法律相談	150	147	202	44
家事（家庭問題）相談	32	34	36	7
認知症・高齢者相談	335	384	351	54
外国人県民相談	3,737	4,264	3,551	559
交通事故相談	491	407	337	66
住まいの相談	1,986	1,743	1,776	352
国の行政相談	6	15	2	0
合計	9,927	9,863	9,249	1,625

**そうや！
兵庫県民総合相談センター**
に聞いてみよう

Please don't hesitate to call us!
(Hyogo Prefectural Information and Advisory Service) ★ (for foreign residents in Hyogo)

令和6年度 兵庫県の総合相談窓口

兵庫県民総合相談センターは、県政や暮らしの困りごとについて専門の窓口等をご案内する総合相談窓口です。お気軽にお電話ください。経験豊富な相談員がお待ちしております。
また、県内各地の県民局・県民センターとも連携し、法律相談・家事（家庭問題）相談などの専門相談（テレビ電話相談含む）を行っています。

さわやか県民相談

電話・来所・メール相談

外国人県民相談

電話・来所相談

<p>日常生活上の法律問題等 法律相談 <small>電話のみ 来所予約</small></p> <p style="font-size: x-x-small;">日常生活上の法律問題等について、弁護士が助言（当センターへの来所相談、来店等でのテレビ電話相談）</p>	<p>離婚や相続のトラブル等 家事（家庭問題）相談 <small>電話のみ 来所予約</small></p> <p style="font-size: x-x-small;">離婚や相続のトラブル等について、元家庭裁判所調停委員が助言（当センターへの来所相談、県民局等でのテレビ電話相談）</p>
<p>高齢者と家族が抱える認知症・介護・虐待等 認知症・高齢者相談 <small>電話相談のみ</small></p> <p style="font-size: x-x-small;">認知症・介護・虐待に関する悩みごとに「認知症の人と家族の会」会員と看護士等が対応</p>	<p>話し合いの仕方、保険請求の方法等 交通事故相談 <small>電話・来所相談</small></p> <p style="font-size: x-x-small;">交通事故に遭った時の話し合いの仕方や保険請求の方法等について、専門の相談員が対応</p>
<p>住まいに関する技術的助言、契約のトラブル等 住まいの相談 <small>電話・来所相談</small></p> <p style="font-size: x-x-small;">住まいに関する技術的な相談は電話のみ、要予約（弁護士による相談は電話のみ、要予約）</p>	<p>国の行政に対する要望、苦情、相談等 国の行政相談 <small>電話・来所相談</small></p> <p style="font-size: x-x-small;">国の行政に対する要望、苦情、相談等について、行政相談委員が対応</p>

医療や暮らしなど、外国人の生活に関すること
★**外国人県民相談** 英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語は相談員が対応。その他の言語は外部通訳を利用

※詳細は、上記のコードをQRコードを読み取り、外国人県民インフォメーションセンターの情報を確認ください。

兵庫県民総合相談センター

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号
神戸クリスタルタワー6階（JR神戸駅前）

TEL 078-360-8511
FAX 078-360-2898 兵庫県民総合相談センター 検索

II 広聴活動の推進

3 県庁見学の実施

(1) 県庁見学（予算額 5,448千円）

県庁を訪れる小学生等を対象に、兵庫県公館、災害対策センター、県警本部等を案内するとともに、県勢や県の仕事を紹介し、郷土学習意欲の向上及び県政への理解を促進。

【実施状況】

(件数)

年度	小学生		一般団体		合計	
	団体数	見学者数 (人)	団体数	見学者数 (人)	団体数	見学者数 (人)
R3	59	2,454	7	157	66	2,611
R4	108	4,226	19	537	127	4,763
R5	108	4,917	34	1,077	142	5,994
R6.5月末	4	142	6	222	10	364

主な
見学
場所



兵庫県公館



災害対策センター



みどり展望(県庁2号館13F)



兵庫県